

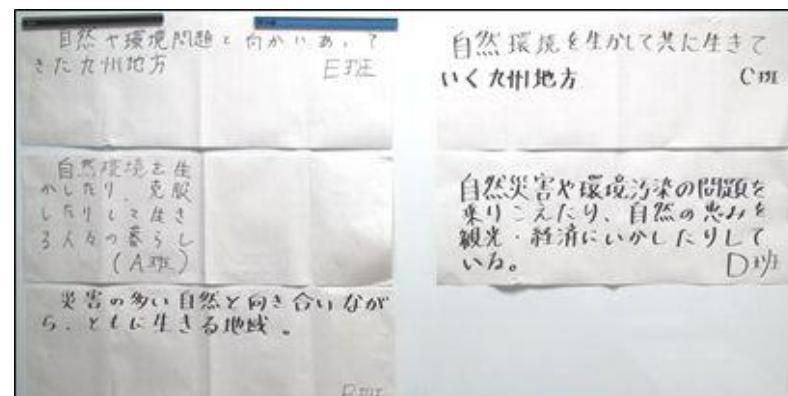
<アイデア>

地理的分野「C(3)ア(ア)(イ)」(日本の諸地域「九州地方」)

九州地方の学習で獲得した知識を活用して、九州地方の地域的特色をタイトル化して表現する単元構想のアイデア

【単元の学習問題】

九州地方は、どのような特色をもった地域と言えるでしょうか。～特色をまとめて、タイトルをつけよう！～



※本アイデアは、令和2年度総合教育センター研修員B先生の実践を基に、再構成したものです。

本単元に関する学習指導要領の内容

地理的分野「C(3)ア(7)(イ)」(日本の諸地域「九州地方」)

C 日本の様々な地域

(3) 日本の諸地域

次の①から⑤までの考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。

- ① 自然環境を中核とした考察の仕方
- ② 人口や都市・村落を中核とした考察の仕方
- ③ 産業を中核とした考察の仕方
- ④ 交通や通信を中核とした考察の仕方
- ⑤ その他の事象を中核とした考察の仕方

ア 次のような知識を身に付けること。

- (7) 幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解すること。
- (イ) ①から⑤までの考察の仕方で行き上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

- (7) 日本の諸地域において、それぞれ①から⑤までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。

＜本アイデアのポイント＞

- ・ 学習したことをマトリックスに整理して、キーワードを生かしながらタイトル化することで、地域の特色を大まかに捉える力を育成することにつながります。

それぞれの地方の地域的特色をどう捉えさせたいのか、そのために学習活動、資料をどう絞り込むのかが、鍵になりますね。



【展開例】

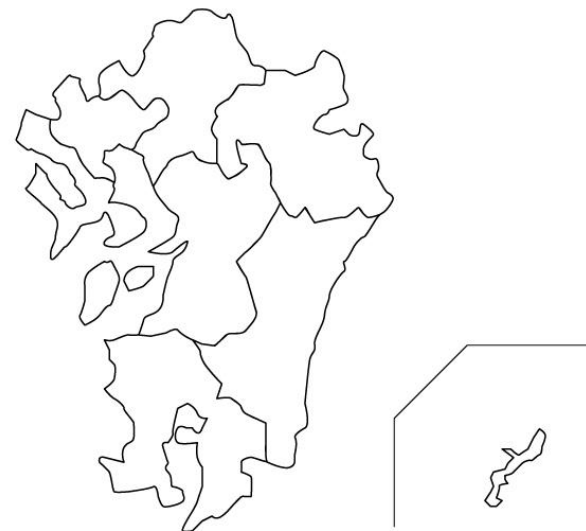
- ①単元の学習問題を設定する。
- ②「自然環境を中核とした考察の仕方」で九州地方の特色を追究し、マトリックスにまとめる。
- ③個人で九州地方の特色をタイトル化する。
- ④グループで意見交流し、一つのタイトルにまとめる。
- ⑤学級で話し合う。
- ⑥個人で考えをまとめる。

展開① 単元の学習問題を設定する。

九州地方の特色を大きく捉えたら、
どのように表現できるかな。



この単元では、九州
地方の地域的特色の
具体を学んだ後、タ
イトル化してまとめ
てみましょう。



【学習問題】

九州地方は、どのような特色をもった地域と言えるでしょう
か。～特色をまとめて、タイトルをつけよう！～

展開② 「自然環境を中核とした考察の仕方」で九州地方の特色を追究し、マトリックスにまとめる。

<分かったこと>

| 学習内容 | ポイント |
|----------------|---|
| 自然環境に適応する人々の工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 人々は火山とともに暮らしている。 ・ 夏から秋にかけての梅雨や台風が、自然災害を引き起こす。 ・ シラスの地層が広がる地域では、土砂崩れや土石流が発生するため、ダムを建設したり、山林を整備したりしている。 |
| 自然の制約の克服と利用 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 火山は被害とめぐみの両方をもたらす。 ・ 全国の温泉の源泉の3分の1が集中し、観光・経済を潤す。 ・ 地熱発電所、太陽光発電、バイオマス発電 ・ 二毛作(稲作+小麦) ・ シラスは稲作に適なさい→畜産、促成栽培、 ・ 沖縄県では、さんご礁が広がる海を観光に生かす→リゾート |
| 持続可能な社会をつくる | <ul style="list-style-type: none"> ・ 1960年代に大気汚染や水質汚濁などの公害が発生 ・ 北九州市はエコタウンに選ばれるなど、大きく改善 ・ 四大公害病の一つ水俣病から生じた課題を克服する取組 ・ 環境と開発の両立する「持続可能な社会」を目指す取組 |

展開③ 個人で九州地方の特色をタイトル化する。



タイトルだから、できるだけ簡潔にポイントを押さえて示しましょう。

キーワードを絞り込んでから、タイトルにした方がよさそうだな。



<自分で考えたキーワード（例）>

火山

雨

観光資源

自然災害

二毛作

公害

展開④ グループで意見交流し、一つのタイトルにまとめる。

順番に発表してから、比べてみて、一番いいタイトルに絞り込みましょう。

九州地方には、九州だけでなく、沖縄や南西諸島も入っているけど、どうしたらいいかな？

「温暖多雨」という短いフレーズを使おうよ。



<九州地方のタイトル>

| 自分で考えたタイトル | グループでまとめたタイトル |
|-------------------|----------------------------|
| 危険と観光資源をもたらす火山の地域 | 自然が豊かで、たくさんの恵みと自然災害をもたらす地域 |

展開⑤ 学級で話し合う。



自分たちが気付いていなかった視点は、「気付いたこと」に書いておきましょう。



僕たちの班では、「〇〇な地域」とまとめました。理由は、△△だからです。

僕たちと同じ言葉を使っているね。

<気付いたこと>

- ・ 自然災害と恩恵の両面を表現している班が多い。
- ・ 「火山の活動」と「観光」は結び付いている。
- ・ 「自然との共存」という考え方は九州地方にぴったりだ。

展開⑤ 学級で検討する。

C5講座で受講者が考えたタイトル

自然や環境問題と向かいあ、て
きた九州地方 E班

自然環境を生かして共に生きて
いく九州地方。 C班

自然環境を生
かしたり、克服
したりして生き
る人々の暮らし
(A班)

自然災害や環境汚染の問題を
乗り越えたり、自然の恵みを
観光・経済にいかしたりして
いる。 D班

災害の多い自然と向き合いなが
ら、ともに生きる地域。

実際にやってみると、タイトルにするのに難儀しました。練り合いの精度を上げるためには、共通のキーワードを確認してから取り組ませる必要があるな。



展開⑥ 個人で考えをまとめる。



学級で絞り込んだキーワードを基にして、
自分なりのタイトルを書きましょう。

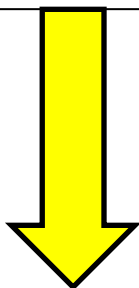
学級でまとめたキーワード（例）

温暖多雨

火山

恩恵

自然災害



【タイトル（例）】

「温暖多雨な気候と火山が恩恵と自然災害をもたらす地域」

受講者の感想

- ・ タイトルを考えるというのがとてもよいと思いました。次に地理の授業をするときにやってみたいです。
- ・ 共通してタイトルを考えるときに、学習内容にたどりついていくような気がします。その地域だけの特色となると、具体が必要で、抽象と具体の兼ね合いに難しさを感じました。
- ・ タイトルにすることで短く端的に伝えようと生徒も考えることにつながる。
- ・ タイトル化することで九州地方に必要な要素が何であるかを考えることができた。グループで練り合うことで新たな気付きもあった。